

# Tunebite チュートリアル

# 目次

保護された音楽ファイルの変換.....	3
音楽ファイルの基本操作.....	3
保護された音楽ファイルの変換時間を短縮させる .....	6
保護された動画ファイルの変換.....	9
録画処理を行った動画ファイルがカクカクしてしまう場合.....	14
保護された動画ファイルを DVD プレイヤーで再生するには .....	15
画面の録画機能を利用する .....	15
変換したファイルの保存先を指定する.....	19
Tunebite で困った時は.....	20

## 保護された音楽ファイルの変換

Tunebite では保護された音楽ファイルを録音して別のファイルを作成することができます。ここでは音楽ファイルの基本操作などについて説明しています。

### 音楽ファイルの基本操作

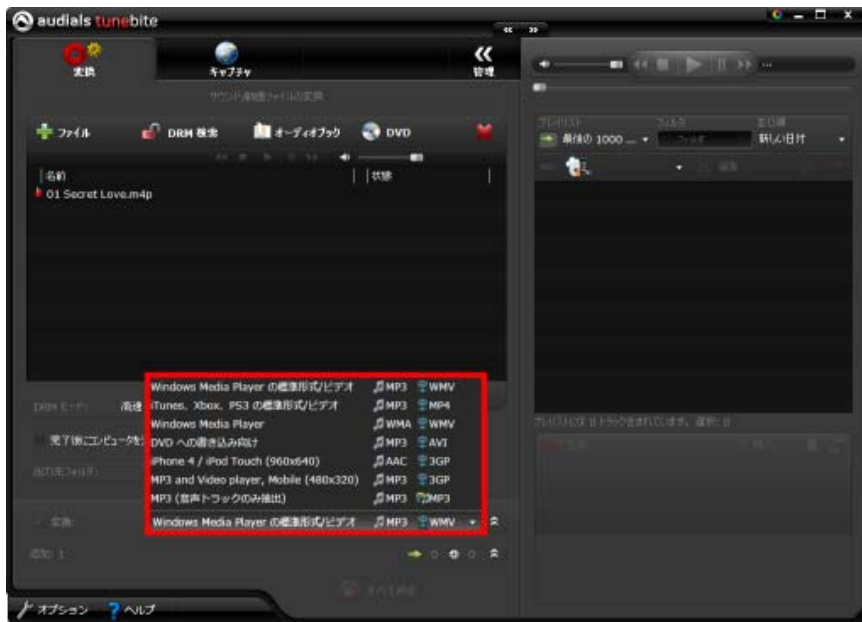
音楽ファイルの変換作業の基本操作を紹介します。保護された音楽ファイルと保護されていない音楽ファイルの操作手順は同じですが、保護された音楽ファイルは録音処理が行われ、保護されていない音楽ファイルはデータ変換が行われます。

1. Tunebite を起動して、赤い枠内に変換するファイルをドラッグ&ドロップします。[追加] ボタンをクリックして、ファイルを指定することもできます。

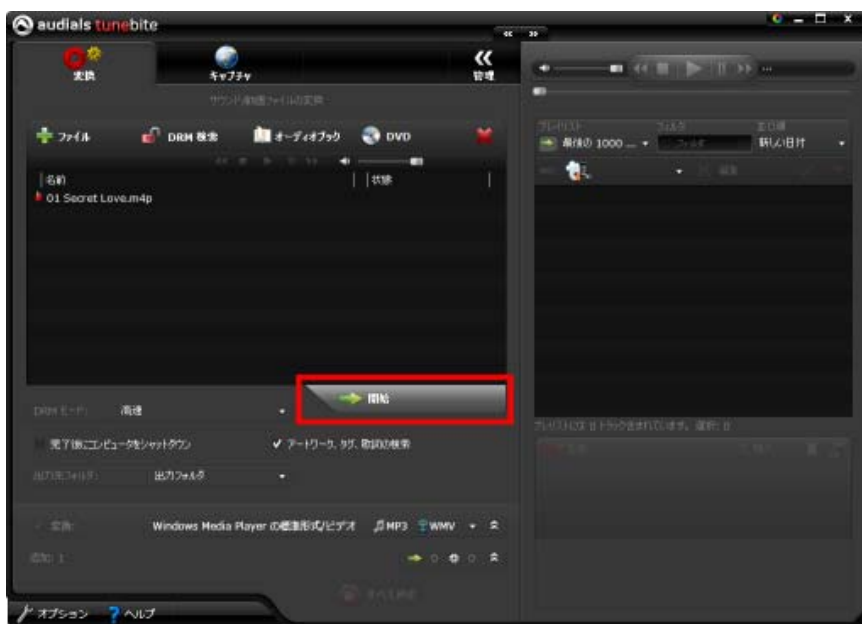
**注意：保護されている音楽ファイルを録音する場合は、ご利用の環境で音楽ファイルが再生できることを予めご確認ください。**



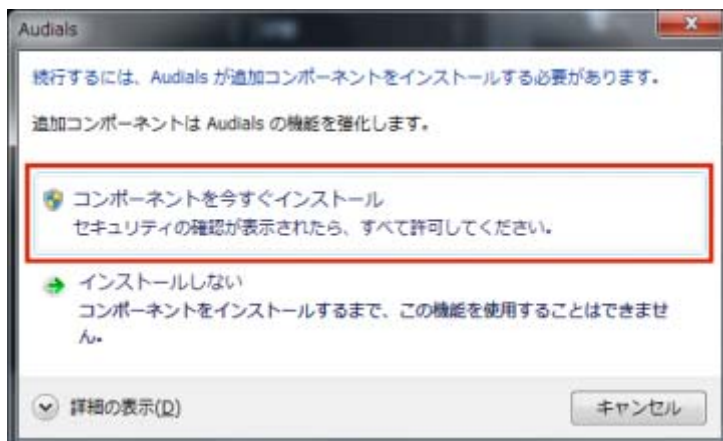
2. 保存するファイル フォーマットを選択します。



3. [開始] ボタンをクリックして録音を開始します。



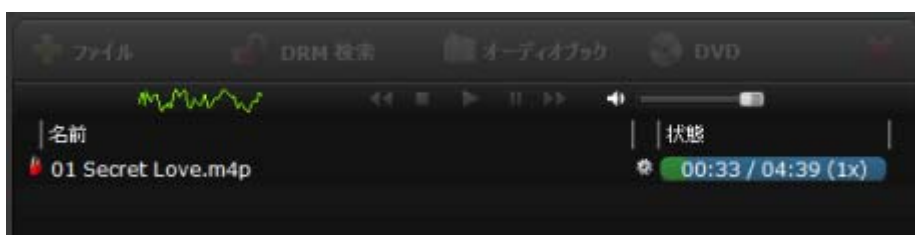
初めて処理を行う場合は、コンポーネントのインストールが要求されます。画面が表示されたら、[コンポーネントを今すぐインストール] をクリックします。



Windows セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストール] ボタンをクリックします。



4. 曲の再生が始まり録音が始まります。



5. 録音作業が完了すると、右のプレイヤーに曲が表示されます。



以上の手順で音楽ファイルを変換することができます。変換が完了したファイルは既定の設定では、ミュージック フォルダ内の「Audials Converted Music」フォルダに格納されますので、直接ファイルを開いたり他のソフトで利用することができます。

### 保護された音楽ファイルの変換時間を短縮させる

ここで紹介するのは、Tunebite で保護された音楽ファイルの変換時間を短縮させる方法です。時間を短縮させる方法として再生速度を上げる方法と変換処理を平行して行う 2 つの方法があります。

#### 保護された音楽ファイル (WMA ファイル) の再生速度を上げる

保護された音楽ファイルの再生速度を上げるには次のオプション設定を変更します。ご利用されている環境が Windows XP の場合は 4 倍、Windows 7/Vista の環境では 2 倍の速度まで上げることができます。

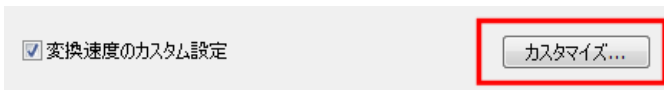
1. Tunebite 画面左下の [オプション] ボタンをクリックします。



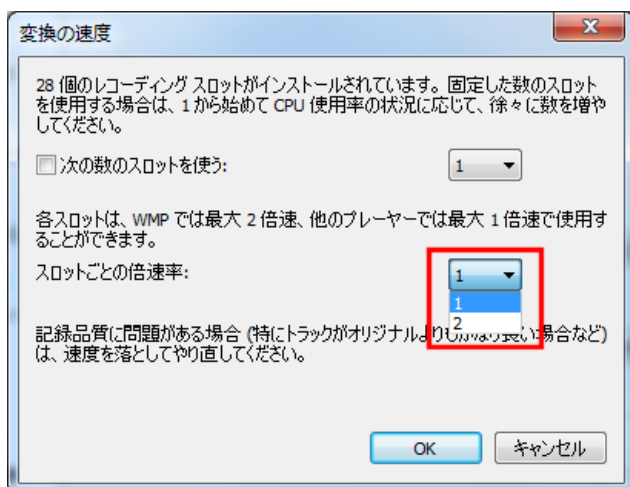
2. [DRM] アイコンをクリックします。



3. [変換速度のカスタム設定] オプション右側の [カスタマイズ] ボタンをクリックします。



4. [スロットごとの倍速率] ドロップダウンからご希望の速度を選択します。



5. [OK] ボタンをクリックします。

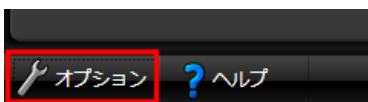
以上の方法で再生速度を変更することができます。

※ 環境により変換速度を上げた状態で録音処理を行うと音トビが発生する場合があります。この場合は倍速率を 1 にしてご利用ください。

### 変換処理を平行して行う

複数の変換処理を同時に行うには次のオプション設定を変更します。

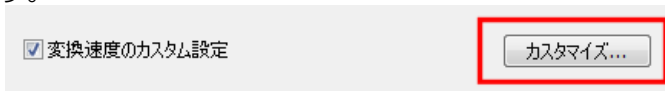
1. Tunebite 画面左下の [オプション] ボタンをクリックします。



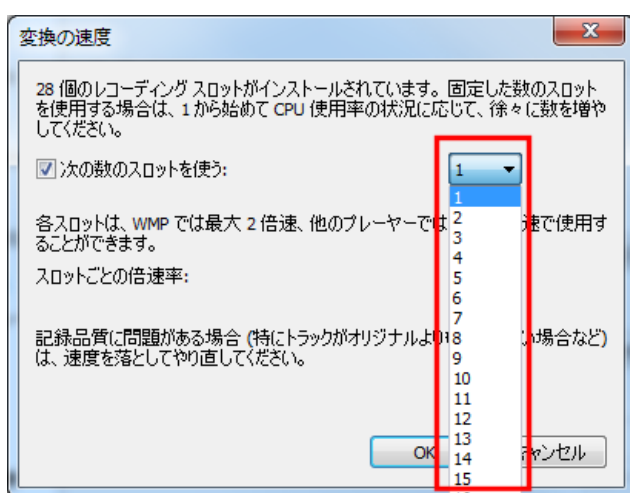
2. [DRM] アイコンをクリックします。



3. [変換速度のカスタム設定] オプション右側の [カスタマイズ] ボタンをクリックします。



4. [次の数のスロットを使う] オプションを有効にして、利用するスロット数を指定します。



5. [OK] ボタンをクリックします。

以上の方法で平行して変換する処理数を指定することができます。

※ スロット数を増やしすぎると変換処理中に再生エラーなどのエラーが発生する場合があります。はじめはスロット数を5に設定して、そこからベストな設定を見つけてください。

### 保護されていない音楽/動画ファイルの変換処理を平行して行う

保護されていないファイルの変換処理を平行して行うには、次の方法を行います。音楽ファイルに限らず保護されていない動画ファイルについても平行して処理が行われるようになります。

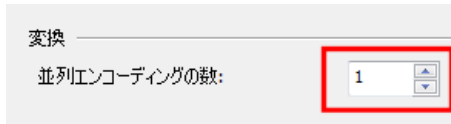
1. Tunebite 画面左下の [オプション] ボタンをクリックします。



2. 「変換と処理」アイコンをクリックします。



3. 「並列エンコーディングの数」オプションに平行して処理させる数を指定します。



4. [OK] ボタンをクリックします。

以上の方法で同時に行うエンコーディング処理数を増やすことができます。

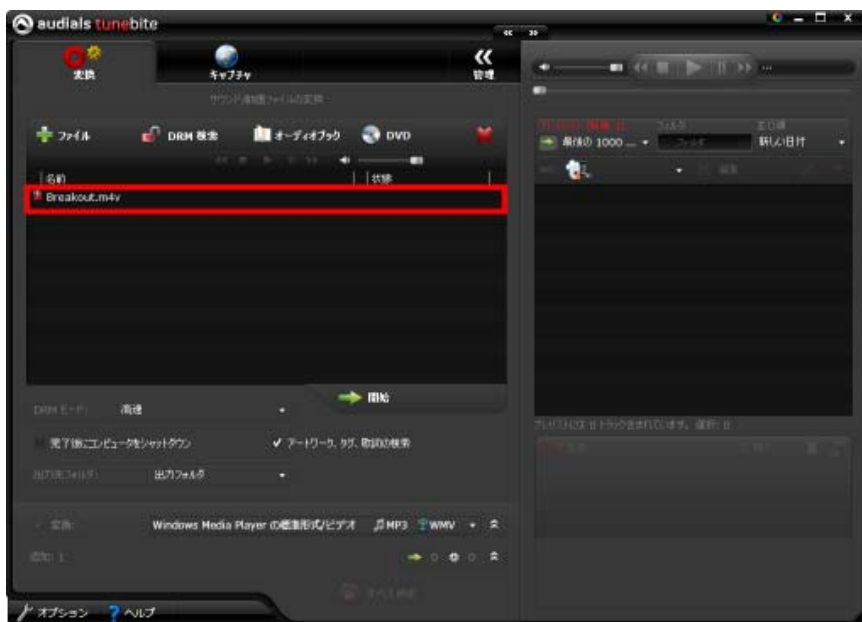
## 保護された動画ファイルの変換

動画ファイルの変換作業の基本操作を紹介します。保護された動画ファイルと保護されていない動画ファイルの操作手順は同じですが、保護された動画ファイルは録画処理が行われ、保護されていない動画ファイルはデータ変換が行われます。

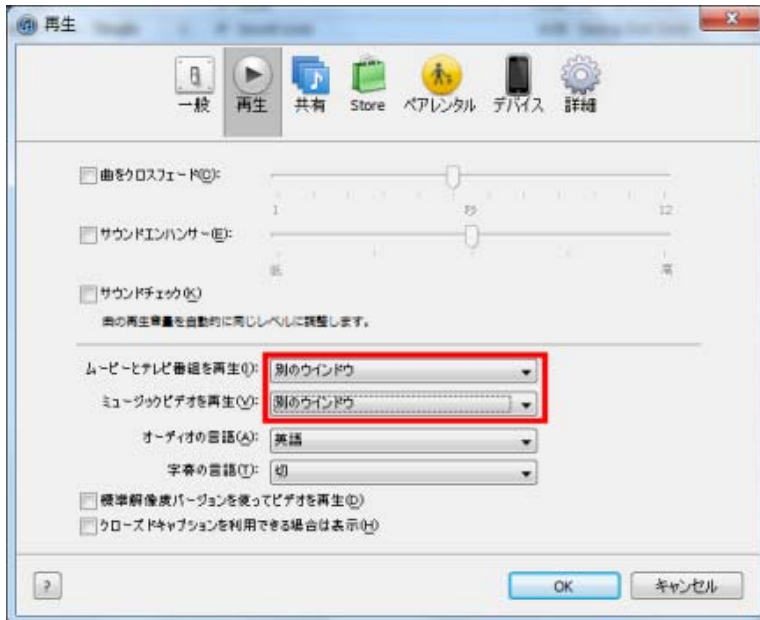
保護された動画ファイルの変換作業中に再生ウィンドウが表示されますが、この画面を移動したり最小化することはできません。また、再生と録画処理は非常に重い処理となりますので、作業中に他の作業を行いますと欠落フレーム発生の原因となる可能性が高くなります。他の作業は行わない状態でのご利用を強くお勧めいたします。

1. Tunebite を起動して、赤い枠内に変換するファイルをドラッグ アンド ドロップします。[追加] ボタンをクリックして、ファイルを指定することもできます。

**注意：保護されている動画ファイルを録画する場合は、ご利用の環境で動画ファイルが再生できることを予めご確認ください。**



M4V 形式のファイルの変換を行う場合は、iTunes 上での再生ができることを確認の上、編集 > 設定 を選択し、[再生] 設定内の [ムービーとテレビ番組を再生] と [ミュージックビデオを再生] オプションを「別のウィンドウ」に変更してください。



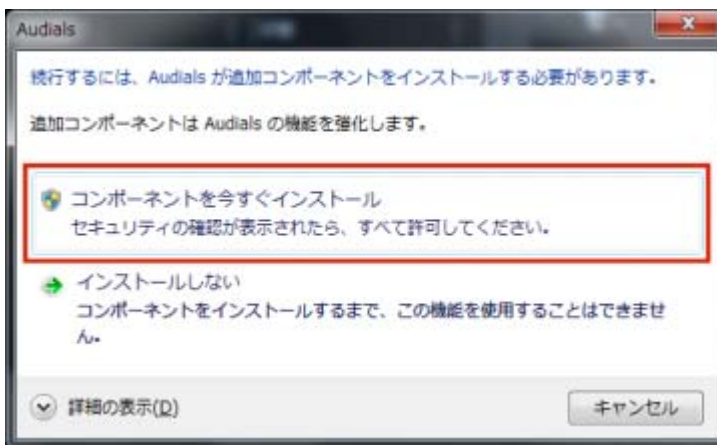
2. 保存するファイル フォーマットを選択します。



3. 画面下部の [開始] ボタンをクリックして録音を開始します。



初めて処理を行う場合は、コンポーネントのインストールが要求されます。画面が表示されたら、[コンポーネントを今すぐインストール] をクリックします。

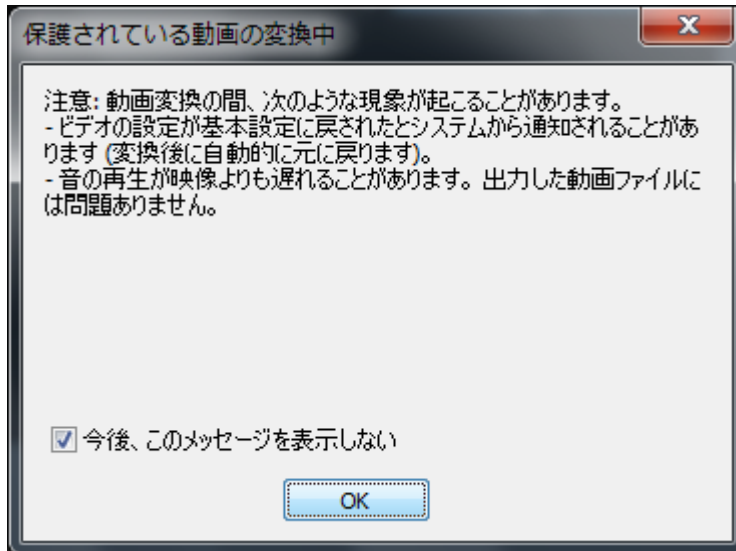


Windows セキュリティの警告画面が表示されますので、[インストール] ボタンをクリックします。

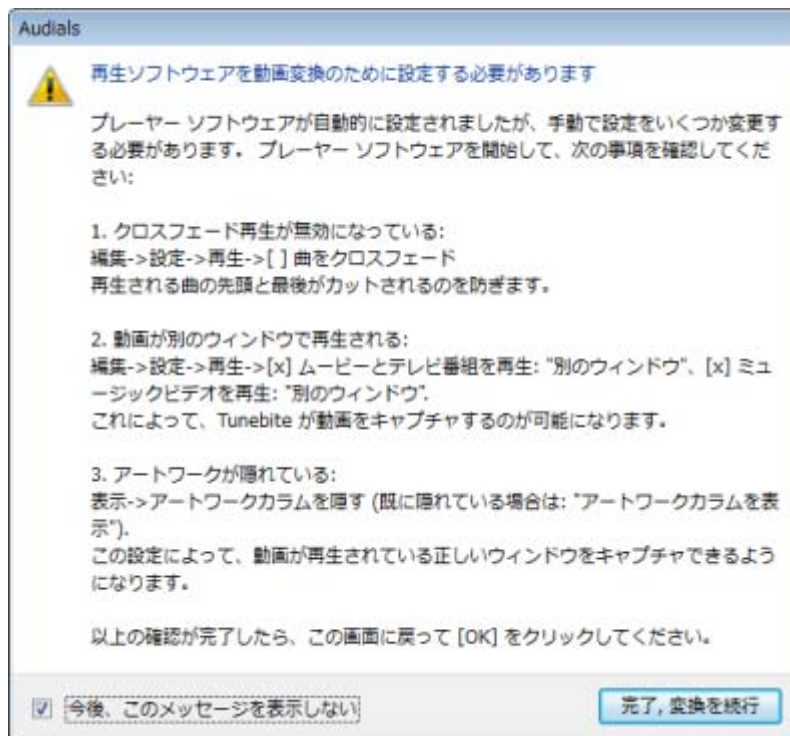


4. 動画の再生が始まり、録画が開始されます。動画ファイルは等倍速で録画されます。

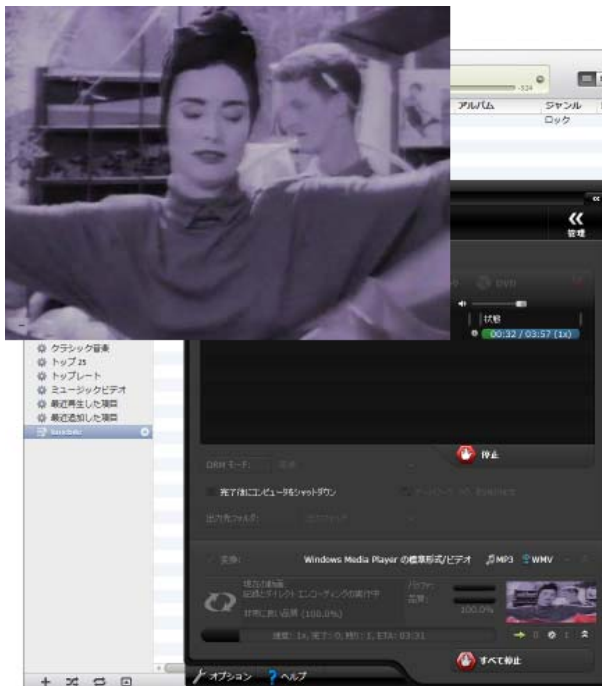
注意: Tunebite から保護された動画ファイル変換に関する情報画面が開きますので、[今後、このメッセージを表示しない] をチェックして [OK] ボタンを押します。



M4V 形式ファイルの変換を行う場合、再生ソフトウェアの設定変更に関する画面が表示されますので、[今後、このメッセージを表示しない] をチェックして [完了、変換を続行] ボタンをクリックします。



注意: 再生画面を移動することはできません。



5. 録音作業が完了すると、右のプレイヤーに曲が表示されます。



以上の方法で動画ファイルを変換することができます。変換が完了したファイルは既定の設定では、ビデオ フォルダ内の「Audials Converted Videos」フォルダに格納されますので、直接ファイルを開いたり他のソフトで利用することができます。

※ 保護された動画ファイルの録音処理では倍速再生が行えないため、動画ファイルの再生時間以上の処理に時間がかかります。

## 録画処理を行った動画ファイルがカクカクしてしまう場合

作成した動画ファイルを再生した時にカクカクした動きとなってしまう場合、処理が重すぎるために欠落フレームが発生してしまった可能性があります。次の項目を確認して再度録画処理の動作をご確認ください。

- 変換する動画ファイルの再生状態を確認する。  
変換する動画ファイルが Windows Media Player や iTunes で正しく再生できることを確認します。Tunebite の録画作業では、再生した状態を録画しますので、正しく再生されない状態ですと、作成された動画ファイルも同じようになってしまいます。
- 変換先フォーマットを MP4 などに変更する。  
WMV 形式は処理が重いフォーマットになりますので、変換先のフォーマットを WMV から MP4 形式に変更して、動作をご確認ください。

形式	MPEG4 最高品質
3GP	MPEG4 ビデオ, VBR (3.35GB/h @720p HD)
AVI	MPEG4 高品質
MPEG4	MPEG4 ビデオ, VBR (1.75GB/h @720p HD)
WMV	MPEG4 中間品質
デバイス	MPEG4 ビデオ, VBR (0.9GB/h @720p HD)
Apple	MPEG4 オリジナルのファイル サイズ
Android フォン	MPEG4 ビデオ, オリジナルのファイル サイズに合わせる

- プログラムの優先度を変更する。  
変換先のフォーマットを WMV 以外の形式に変更しても、品質が低い場合は、Tunebite のプログラムの優先度を変更して処理を行ってみてください。

優先度の変更は、タスクマネージャから行います。

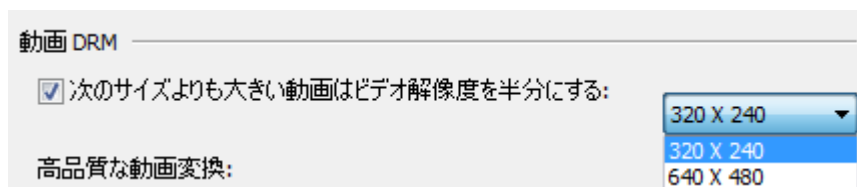
- 1 Tunebite を起動しておきます。
- 2 Ctrl + Alt + Delete キーを押して、[タスクマネージャの起動] をクリックします。
- 3 [タスク マネージャ] 画面の [プロセス] タブをクリックします。
- 4 プロセスの一覧から、「Audials.exe」の項目を見つけて、右クリックします。
- 5 表示されたメニューから [優先度の設定] をクリックし、[通常以上] または [高い] を選択します。この優先度はご利用されている PC のスペックより異なりますので、指定を変更して最適な設定を見つけてください。

優先度の設定完了後に、変換を行って動作をご確認ください。

- 画面の色数を 16 ビットに変更する。  
変換先のフォーマット、優先度の変更を行っても、品質が向上しない場合は、画面色数を 16 ビットに下げ動作をご確認ください。品質は録画処理中に Tunebite の画面下部で確認することができます。



- ビデオの解像度を落とす上記の作業を行っても、品質の向上が見られない場合は、Tunebite のオプションでビデオ解像度を現在のビデオ解像度よりも下げることで、品質を向上させることができます。  
Tunebite の [オプション] ボタンをクリックして [DRM]アイコンを選択し、画面下の「次のサイズよりも大きいビデオはビデオ解像度を半分にする」項目をチェックして、リストから 320 x 240 または 640 x 480 を指定して変換を行ってください。



### 保護された動画ファイルを DVD プレイヤーで再生するには

Tunebite は家庭用プレイヤーで再生可能なビデオ DVDを作成する機能は装備されておりません。データ DVD としての書き込みのみとなります。Tunebite を利用して保護された動画ファイルから保護されていない動画ファイルを作成した後に、[ConvertXtoDVD](#) のような DVD 作成ソフトをご利用いただきましてDVD を作成してください。

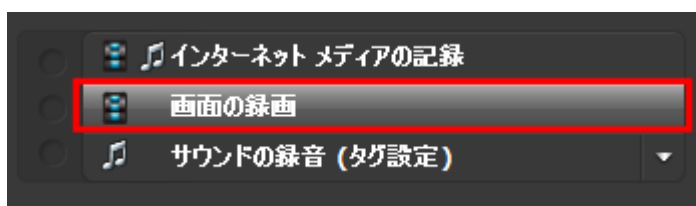
### 画面の録画機能を利用する

画面の録画処理は Web 上で公開されているストリーミング放送などを直接録画したり、他のソフトで再生している内容を録画することができます。

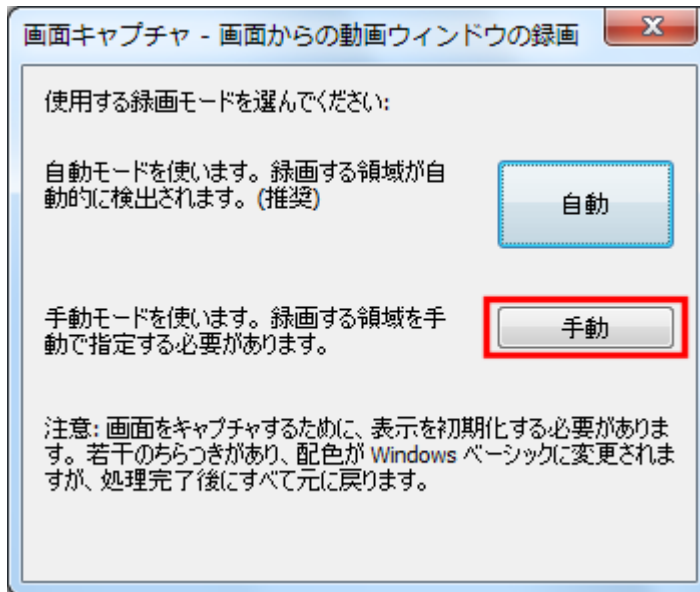
※ 画面の録画処理中はビデオカードのアクセラレーションが OFF となります。そのためアクセラレーションが OFF の状態で再生が行えないソフトの画面は録画できません。

ここではこの録画機能を利用したときに先頭部分が欠落してしまう場合のケースの対処方法を紹介します。

1. [Web] タブ内の [画面の録画] ボタンをクリックします。



2. [画面キャプチャ] 画面内の [手動] ボタンをクリックします。



3. キャプチャする画面を開き、再生状態のまま [自動検出] ボタンをクリックしてキャプチャ領域の調整を行います。



- 調整が終わりましたら、再生画面内の一時停止ボタンをクリックして、再生を停止します。



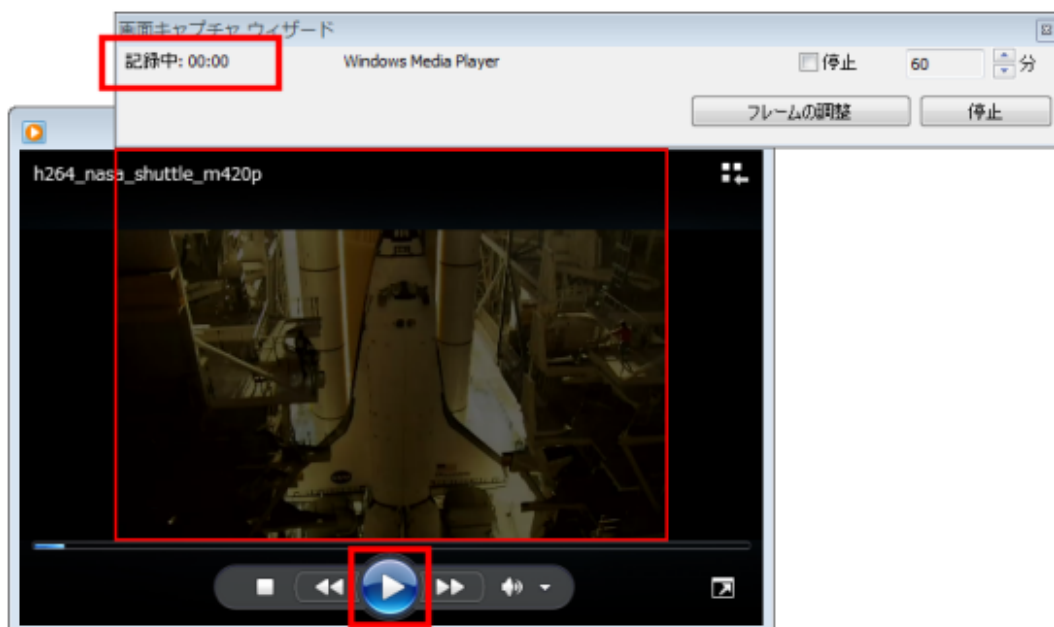
- [画面キャプチャウィザード] 画面内の [録画] ボタンを押して、キャプチャ検出状態にします。



- 再生画面内の停止ボタンを押します。



- 再生画面の再生ボタンをダブルクリックするようにクリックして、再生してすぐに一時停止状態にします。このとき、[画面キャプチャウィザード] 画面が録画開始状態となっている事を確認します。



- 再度、再生画面の再生ボタンを押して録画を最後まで行ってください。



以上の方法で画面の録画処理を行うことができます。録画処理が完了したファイルは既定の設定では、ビデオ フォルダ内の「Audials Recorded Webvideos」フォルダに格納されますので、直接ファイルを開いたり他のソフトで利用することができます。

## 変換したファイルの保存先を指定する

Tunebite の既定値の設定では、変換した保存先はミュージック フォルダとビデオ フォルダに Audilas の名前の付いたフォルダを作成し、その中に格納されるようになっています。

ご利用の環境に別ドライブのハードディスクが接続されている場合は、そのドライブ上に保存先を変更することができます。

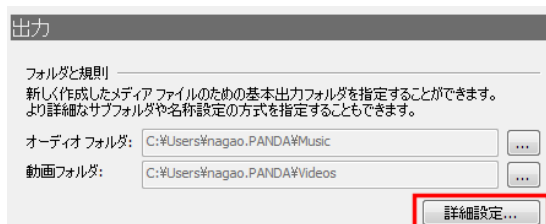
1. Tunebite の画面左下の [オプション] ボタンをクリックします。



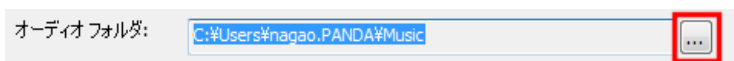
2. [出力] アイコンをクリックします。



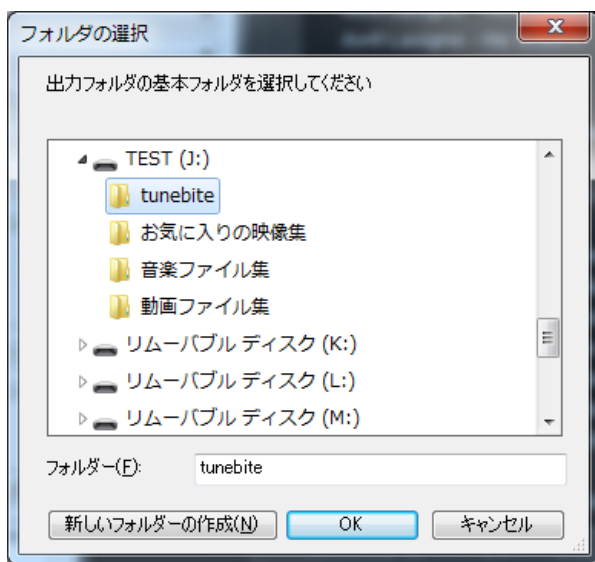
3. 「フォルダを規則」項目内の [詳細設定] ボタンをクリックします。



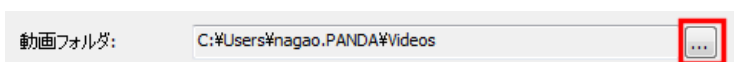
4. [オーディオ フォルダ] オプション右側の [...] ボタンをクリックします。



5. [フォルダの選択] 画面が開きますので、ご希望のドライブを指定します。ドライブ直下を指定するのではなく、わかり易い名前を付けたフォルダをご指定される事をお勧めします。



6. [OK] ボタンをクリックします。
7. 動画ファイルの設定も音楽ファイルの設定と同じように設定します。



以上の方法で保存先を変更することができます。

## Tunebite で困った時は

Tunebite が正しく動作しない場合は、一度 Tunebite のサポートページに問題解決のヒントが記載されていないかをご確認ください。

<http://support.panda.co.jp/sup.php>

※ 製品リストから「Tunebite」を選択するか、アルファベットの「T」をクリックして、「Tunebite」を選択してください。